

アークフラッシュ施工された老人施設からは5年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

<<光触媒関連 NEWS>>

帝人は、光触媒活性を持つTiO₂製ナノファイバーを開発した。繊維の直径は約200nm径。帯電させた溶液を噴出させる「エレクトロスピンニング法」に工夫を加えて、これまで難しかったナノファイバー化に成功した。光触媒として多用されているTiO₂微粒子に比べて、光触媒活性が高いことが確認されたとしている。今後同社は、高性能フィルターなどへの用途開拓を進める考え。

<<インフルエンザ特効薬に副作用>>

インフルエンザ治療薬のリン酸オセルタミビル(商品名タミフル)を飲んだ患者2人が、飲んで間もなく行動に異常をきたし、1人は車道に走り出て大型トラックにはねられ死亡、もう1人はマンションの9階から転落死していたことが11日、分かった。薬の添付文書には副作用として「異常行動」(自分の意思とは思えない行動)や「幻覚」などが起きる場合があると書かれているが、死亡につながったケースの判明は初めて。厚生労働省安全対策課も死亡例の一つを副作用として把握しており「異常行動の結果、事故死する可能性もある」としている。

NPO法人「医薬ビジランスセンター」(大阪市)理事長の浜六郎医師が12日、津市で開催中の日本小児感染症学会で発表する。2人の遺族が浜医師に相談した。岐阜県の男子高校生(当時17歳)は昨年2月にインフルエンザと診断され、正午過ぎにタミフルの通常量、1カプセルを自宅で飲んだ。その後、家族が不在の間にパジャマ姿で素足のまま外出し、雪の中を自宅のフェンスを乗り越えて走るなどした。午後3時45分ごろ自宅近くでガードレールを乗り越え大型トラックに飛び込み死亡した。

<<鳥インフルエンザ情報>>

現在は、アジアで高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)の人への感染が見られ、新型発生手前の第3段階に当たる。

世界保健機関(WHO)の李鍾郁(イジョンウク)事務局長は、ジュネーブのWHO本部で毎日新聞との単独会見に応じた。李事務局長は、鳥インフルエンザの流行が続く東南アジア・中国南部で人から人への感染力を持つ新型ウイルスが出現する可能性が高いと指摘し、「距離的に近い日本も無関係ではない」と警告した。

新型ウイルスによるインフルエンザの大流行が起これば、世界中で数百万人が死亡す

るとみられる。李事務局長は「新型ウイルスの出現は時間の問題。脅威かどうか議論する時期は既に終わった。今は大流行への備えをすべき時」と強調した。

李事務局長は、患者が発生した場合、大規模な対策を初期に講じる必要があると強調。発生地域に抗ウイルス剤を集中的に投入するとともに、患者が発生した集落や都市全体を隔離して感染拡大を防ぐべきだとしたが、抗ウイルス剤の供給は世界的に不足状態。また、「インフルエンザは空気感染で、確実な封じ込めは難しい」と対策の困難さも認めた。

米国は今月1日、ブッシュ大統領が71億ドル(約8300億円)を投じて世界規模の予防体制を整備すると発表。欧州連合(EU)は24日にも患者発生を想定した訓練をWHOと共同で行う。日本は厚生労働省が行動計画策定を急いでいるが、他の先進国に比べると対策は遅れている。事務局長は「衛生状態がいい日本では伝染病の脅威を肌で感じることは難しいだろうが、日本もインフルエンザと無縁ではいけない」と述べ、地球レベルの対策への積極協力を求めた。

安倍官房長官は17日午前の記者会見で、中国で鳥インフルエンザの感染者が死亡したことに関連し、「新たな広がり示すものと憂慮している」と述べた。

ただ、安倍官房長官は、「現段階で、人に感染しやすい新型インフルエンザの発生を示すものではない」とし、「今後の状況の推移を冷静に注視する」と述べた。政府としては、新型ワクチンの備蓄など、鳥インフルエンザの予防対策を講じたいとしている。

新華社電によると、中国当局は16日、鳥インフルエンザの人への感染を確認し、少なくとも1人が死亡したことを明らかにした。死亡したとされているのは、安徽省の24才の女性。11月1日に発病し、10日に死亡した。女性は家族が経営する農場で死亡したニワトリやガンと接触があった。

国連のアナン事務総長は16日、中国で高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)の人への感染が初めて確認されたことに関連し、チュニスで中国の黄菊副首相と会談、国際社会の協力が感染拡大阻止に向けた「最も効率的な方策」だと訴え、中国に積極的な情報開示を促した。ニューヨークの国連報道官が同日の会見で明らかにした。

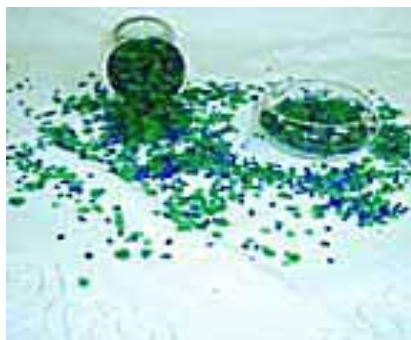
2003年に新型肺炎(SARS)が流行した際、中国が世界保健機関(WHO)に十分な情報を提供せず感染拡大を許した経緯を踏まえ、「一つの中国」をめぐる対立する台湾を含めた周辺地域やWHOとの協力強化を求めた形だ。

国連報道官によると、事務総長は中国当局のこれまでの対応に謝意も表した。

<< ガラスチップに光触媒加工 >>

本部では装飾用のガラスチップに光触媒アークフラッシュをコーティングした装飾用ガラスチップを製作した。

部屋内での空気の浄化などに利用用途を考えており、多様な使い方があると思われるガラスチップは千葉県銚子市のガラスリソーシング株式会社の赤坂社長から提供を受けました。



このガラスチップの脱臭効果は以下の通りです

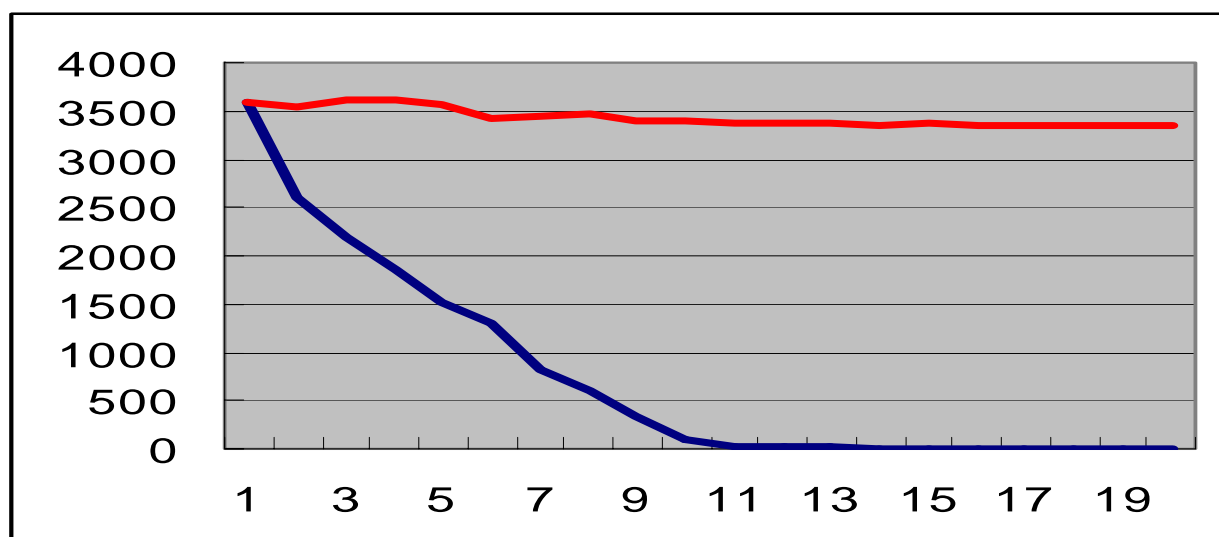
赤線 無処理のガラスチップ

青線 光触媒コーティングのガラスチップ

脱臭確認要綱

ブラックライトから 30cm の距離にてメチルメルカプタン溶液を滴下し、臭い測定器 (双葉計器社製) にて計測

縦軸 臭い強度 横軸 時間(分)



* 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～29号までを配信希望の方はメールにて申込ください。